

## 感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報

令和2年6月28日現在のHIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
<b>HIV感染者</b>	<b>合計</b>	17,486	1,034	18,520	2,057	1,507	3,564	19,543	2,541	22,084
	異性間の性的接触	3,227	839	4,066	502	890	1,392	3,729	1,729	5,458
	同性間の性的接触 <sup>*1</sup>	12,431	4	12,435	952	1	953	13,383	5	13,388
	静注薬物使用	45	2	47	31	4	35	76	6	82
	母子感染	17	10	27	7	9	16	24	19	43
	その他 <sup>*2</sup>	388	41	429	85	33	118	473	74	547
	不明	1,378	138	1,516	480	570	1,050	1,858	708	2,566
<b>エイズ患者</b>	<b>合計<sup>*3</sup></b>	7,919	427	8,346	1,021	433	1,454	8,940	860	9,800
	異性間の性的接触	2,367	280	2,647	327	237	564	2,694	517	3,211
	同性間の性的接触 <sup>*1</sup>	3,928	3	3,931	220	2	222	4,148	5	4,153
	静注薬物使用	32	4	36	29	3	32	61	7	68
	母子感染	10	3	13	1	6	7	11	9	20
	その他 <sup>*2</sup>	241	26	267	34	17	51	275	43	318
	不明	1,341	111	1,452	410	168	578	1,751	279	2,030
<b>HIV感染者+エイズ患者</b>	<b>合計</b>	25,405	1,461	26,866	3,078	1,940	5,018	28,483	3,401	31,884
<b>凝固因子製剤による感染者<sup>*4</sup></b>		1,422	18	1,440	—	—	—	1,422	18	1,440

\*1 両性間性的接触を含む。

\*2 輸血などに伴う感染例、推定される感染経路が複数ある例を含む。

\*3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。

\*4 「血液凝固異常症全国調査」による2019年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

### ※死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～令和元年12月31日)	440名
エイズ予防法 <sup>*5</sup> に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 <sup>*6</sup>	720名

\*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

\*6 「血液凝固異常症全国調査」による2019年5月31日現在の報告数